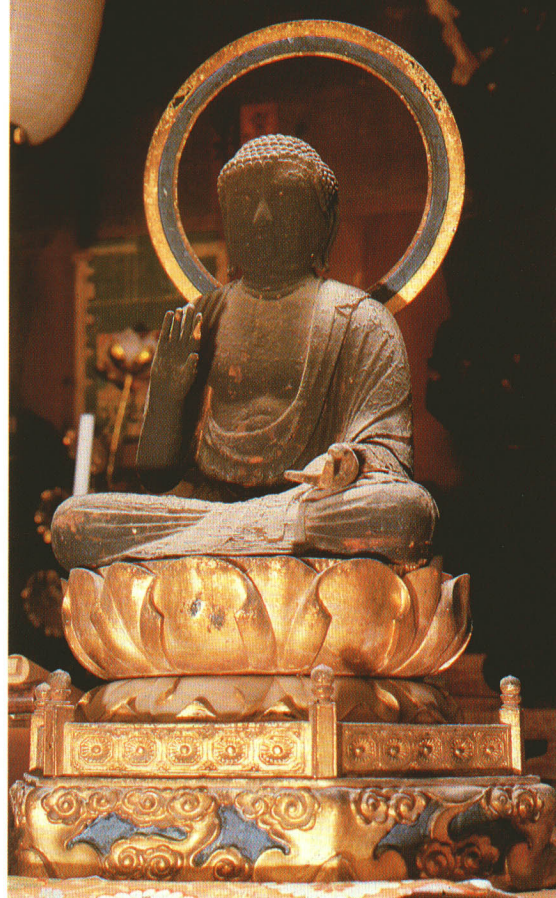


町指定有形文化財



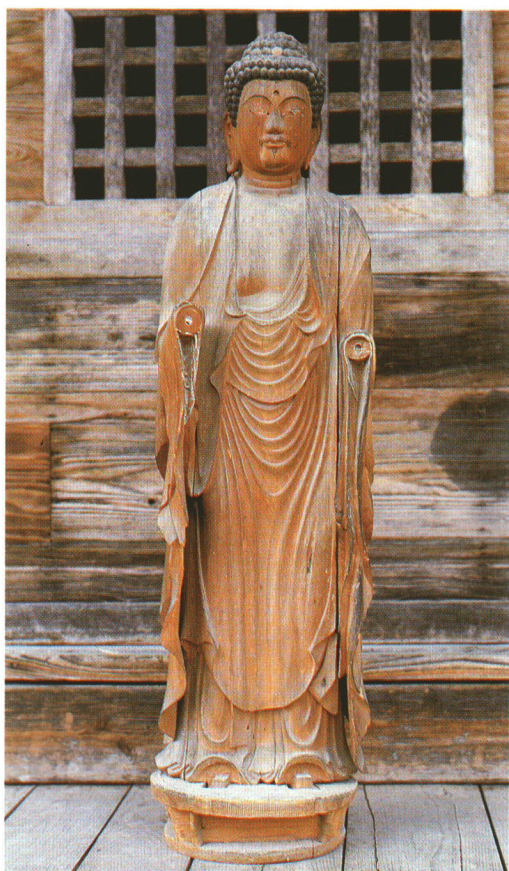
● 木造不動明王座像

かじょう けんぱつ へんぱつ
 蝸状の巻髪に辨髪を肩まで垂らし正眼に「へ」の字形に口を結
 び忿怒相を現わし、全体的に古風と新風が交じり台座も悉々座
 があるところから江戸中期の作と思われる。光背がよくそろっ
 ていて同地方の代表的な不動明王である。像高69cm



● 木造薬師如来座像

けんけい
 卷髻部が大きく、髪際は水平で古風であるところから室町末期
 の作と思われる。輪光背、蓮華、反花を中心とした台座は江戸
 中期に補修したものと思われる。像高41.5cm



● 木造薬師如来立像

承元年間(1207~1211)草岡の館の豪族中丸秀信が現万願寺に
 奉納されたと伝えられる。桧一本彫りで鎌倉中期の作といわれ
 胴体をまとう衣文の彫り、特に頭部から顔にかけての繊巧な妙
 趣に富んだ技法がすばらしい。像高126cm



● 木造千手千眼観世音菩薩立像

元禄2年(1689)万願寺第2世彩庵が献じたもので頭上に阿弥
 陀如来を中心に11の化仏が置かれ、腕は合掌、腹部に法界定印
 を結び両腕より左右20手が出て1手25の衆生を救うことから千
 手観音と呼ばれる。像高118cm